

2023 年度

環境経営レポート

※積込運搬作業の効率 UP のために、タイヤショベルを導入しました。



対象期間：2023 年 6 月～2024 年 5 月

株式会社ジェイピー有価物回収

発行日：2024 年 8 月 31 日

目次

| | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1.組織の概要 | 2 |
| 1.1 名称及び代表者名 | 2 |
| 1.2 事業所及び所在地 | 2 |
| 1.3 環境経営責任者及びエコアクション 21 事務局の連絡先 | 2 |
| 1.4 事業内容 | 2 |
| 1.5 認証・登録の対象組織・活動 | 3 |
| 1.6 事業規模 | 3 |
| 1.7 処理フロー | 5 |
| 1.8 施設概要 | 6 |
| 1.9 許可内容 | 12 |
| 2.環境経営方針 | 13 |
| 3.エコアクション 21 組織図 | 15 |
| 4.主な環境負荷の実績 | 16 |
| 5.環境経営目標とその実績及び環境経営計画の評価・今後の取組 | 17 |
| 6.環境関連法規等の遵守状況 | 19 |
| 7.その他活動状況（CSR 活動等） | 20 |
| 8.代表者による全体評価と見直しの結果 | 21 |



1.組織の概要

1.1 名称及び代表者名

株式会社ジェイピー有価物回収
代表取締役会長 池田 輝文

1.2 事業所及び所在地

本社 ☎ 708-0013

岡山県津山市二宮 968 番 3

☎ : 0868-28-9366 FAX : 0868-28-9369

処分場 ☎ 708-0012

岡山県津山市下田邑 706 番 2

☎ : 0868-28-9366 FAX : 0868-28-9369

積替え保管場所 ☎ 708-0013

岡山県津山市二宮 968 番 1

☎ : 0868-28-9366 FAX : 0868-28-9369

1.3 環境責任者及びエコアクション 21 事務局の連絡先

- ① 環境管理責任者・エコアクション 21 事務局 代表取締役社長 日笠裕一
- ② 連絡先 ☎ : 0868-28-9366 FAX : 0868-28-9369

1.4 事業内容

産業廃棄物中間処理（破碎・選別）業

産業廃棄物収集運搬業

リサイクル業

1.5 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ジエイピー有価物回収

対象事業所：本社、処分場

活動：産業廃棄物中間処理（破碎・選別）業

産業廃棄物収集運搬業

再資源化資材販売

リサイクル業

1.6 事業規模

- ① 設立 2002年6月20日
- ② 資本金 1,500万円
- ③ 売上高 306百万円(2022年度)

| | |
|------|-------------------------------|
| | |
| 従業員 | 15名 |
| 延床面積 | 4,533 m ² 中間処分場 |
| | 2,441 m ² 積替保管場 |
| | <u>6,974 m² 合計</u> |

- ④ 受託した産業廃棄物の処理量

| | | | |
|-----------------|--------|------------|--------|
| 収集運搬量(t) | 19,898 | | |
| 中間処理量(t) | 44,504 | うち再資源化量(t) | 42,698 |
| 中間処理後の産廃の処分量(t) | 1,805 | | |

- ⑤ 車輛台数

| 車種 | 台数(台) | 備考 |
|------------|-------|-----------------|
| 脱着装置付コンテナ車 | 1 | 55-73(12.5t) |
| 脱着装置付コンテナ車 | 1 | 72-02(12.4t) |
| 脱着装置付コンテナ車 | 1 | 69-84(6.2t) |
| 脱着装置付コンテナ車 | 2 | 88-04・56-27(4t) |

| | | |
|-------------------------------|----|------------------------|
| ダンプカー | 2 | 48-06・63-06(10t) |
| ダンプカー | 1 | 72-05(4t) |
| ダンプカー | 1 | 39-70(2t) |
| キャブオーバー | 3 | 81-29・927・93-66(350kg) |
| キャブオーバー | 1 | 57-41(1250kg) |
| キャブオーバー | 1 | 81-62(2t) |
| キャブオーバー | 1 | 81-21(3t) |
| キャブオーバー | 1 | 71-05(5.3t) |
| キャブオーバー | 1 | 26-21(3t) |
| キャブオーバー | 1 | 64-35(2t) |
| 普通乗用車 | 1 | 93-66 |
| 普通乗用車 | 1 | fit |
| 軽ミニバン | 2 | N-BOX・N-VAN |
| 油圧ショベル(0.7 m ³) | 6 | 320E-2 台・320GC-4 台 |
| 油圧ショベル(0.45 m ³) | 2 | 312D・312 |
| 油圧ショベル(0.25 m ³) | 1 | 308E |
| 油圧ショベル(0.09 m ³) | 2 | 303C・303 |
| 油圧ショベル(0.066 m ³) | 1 | 017 |
| タイヤショベル(0.4 m ³) | 1 | 901 |
| フォークリフト(2t) | 1 | トヨタ |
| フォークリフト(2.5t) | 1 | 三菱 25MT・三菱 25AT |
| フォークリフト(3.5t) | 1 | 三菱 35AT・三菱 FB35PJ |
| スクリーン | 1 | 日立VR308 |
| スクリーン | 1 | 中山NE1800G |
| 合 計 | 41 | |

⑥ 事業年度

6月1日～翌年5月31日

1.7 処理フロー

① 受入品目

■ 許可品目 ■

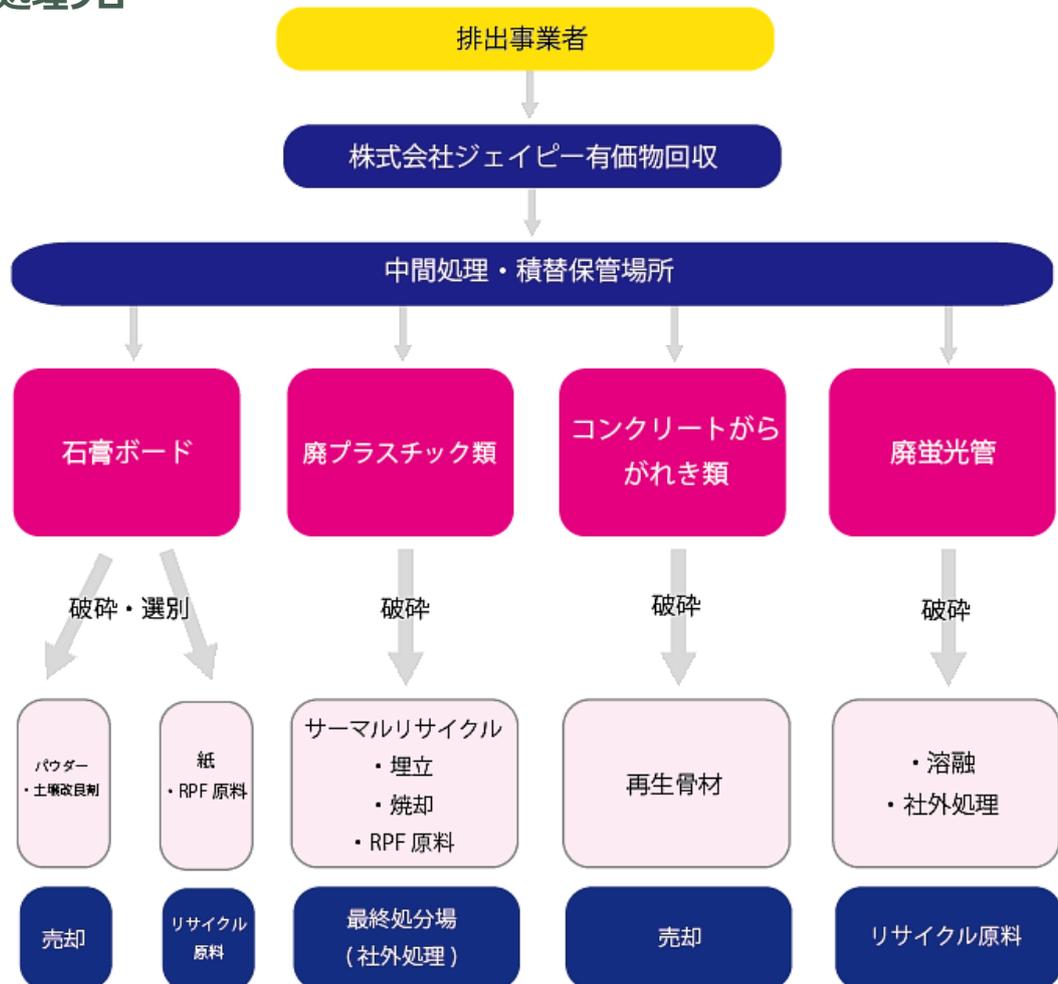
破碎(固定式及び移動式)

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)、陶磁器くず(以上、自動車破碎物を除く。)、紙くず、木くず、ゴムくず、繊維くず、がれき類(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含み水銀含有ばいじん等を除く。) 以上 8 種類

破碎・選別

ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)、陶磁器くず(廃石膏ボードに限り、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。) 以上 1 種類

② 処理フロー



1.8 施設概要

| | | |
|------------------|---|--|
| 許可番号 | 岡山県 第 03328102733 号 | |
| 第 8-(8 の 2)-28 号 | | |
| 許可の年月日 | 2017 年 12 月 08 日 | |
| 許可の有効期限 | 2024 年 12 月 07 日 | |
| 設置年月日 | 2015 年 12 月 12 日 | |
| 事業計画の内容 | 主として岡山県の事業所から収集し、分別、圧縮・減容して再生材として提供する。 | |
| 事業の範囲 | 処分業（中間処理） | |
| 事業の区分 | 中間処理（破碎） | |
| 処理施設の種類 | 木くず又はがれき類の破碎施設(MC240G(固定式及び移動式)) | |
| 廃棄物の種類と処理能力 | がれき 400 トン(/日-8 時間 換算) | |
| |  | |

| | |
|--|---|
| 許可番号 | 岡山県 第 03328102733 号 |
| 許可の年月日 | 2017 年 12 月 08 日 |
| 許可の有効期限 | 2024 年 12 月 07 日 |
| 設置年月日 | 2017 年 06 月 21 日 |
| 事業計画の内容 | 主として岡山県の事業所から収集し、分別、圧縮・減容して再生材として提供する。 |
| 事業の範囲 | 処分量 (中間処理) |
| 事業の区分 | 中間処理 (破碎) |
| 処理施設の種類 | 破碎施設(HB-180Ⅲ(固定式及び移動式)) |
| 廃棄物の種類と処理能力 | 廃プラスチック類 4.5トン(/日-8時間 換算) 金属くず 8.6 m ³ (/日-8時間 換算) ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。) ・陶磁器くず 8.6 m ³ (/日-8時間 換算) 紙くず 12.9 m ³ (/日-8時間 換算) 木くず 4.7トン(/日-8時間 換算) ゴムくず 8.6 m ³ (/日-8時間 換算) 繊維くず 12.9 m ³ (/日-8時間 換算) |
|  | |

| | |
|---|--|
| 許可番号 | 岡山県 第 03328102733 号 |
| 許可の年月日 | 2017 年 12 月 08 日 |
| 許可の有効期限 | 2024 年 12 月 07 日 |
| 設置年月日 | 2012 年 02 月 03 日 |
| 事業計画の内容 | 主として岡山県の事業所から収集し、分別、圧縮・減容して再生材として提供する。 |
| 事業の範囲 | 処分業（中間処理） |
| 事業の区分 | 中間処理（破碎・選別） |
| 処理施設の種類 | 破碎選別施設(HI-09) |
| 廃棄物の種類と処理能力 | 廃石膏ボード(ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。))・陶磁器くず 4.48 トン(/日-8 時間 換算) |
|  | |

| | |
|---|---|
| 許可番号 | 岡山県 第 03328102733 号 |
| 許可の年月日 | 2017 年 12 月 08 日 |
| 許可の有効期限 | 2024 年 12 月 07 日 |
| 設置年月日 | 2013 年 12 月 03 日 |
| 事業計画の内容 | 主として岡山県の事業所から収集し、分別、圧縮・減容して再生材として提供する。 |
| 事業の範囲 | 処分業（中間処理） |
| 事業の区分 | 中間処理（破碎・選別） |
| 処理施設の種類 | 破碎選別施設(廃蛍光管クラッシャ RJC2 型(固定式及び移動式)) |
| 廃棄物の種類と処理能力 | 廃蛍光管(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。))・陶磁器くず 1.9ト(ノ日-8時間 換算)) |
|  | |

| | |
|--------------------|---|
| 許可番号 | 岡山県 第 03328102733 号 第 8-(8の2)-31 号 |
| 許可の年月日 | 2021 年 7 月 27 日 |
| 許可の有効期限 | 2028 年 7 月 26 日 |
| 設置年月日 | 2021 年 10 月 29 日 |
| 事業計画の内容 | 主として岡山県の事業所から収集し、分別、圧縮・減容して再生材として提供する。 |
| 事業の範囲 | 処分業（中間処理） |
| 事業の区分 | 中間処理（破碎） |
| 処理施設の種類 | 木くず又はがれき類の破碎施設(NE250J(固定式)) |
| 廃棄物の種類と処理能力 | がれき 587 トン(/日-8 時間 換算) |
| |  |

許可番号 岡山県 第 03318102733 号

許可の年月日 2018 年 01 月 17 日

許可の有効期限 2025 年 01 月 16 日

廃棄物の種類 燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、繊維くず、ガラスくず等、
がれき類、石綿含有産業廃棄物

処理能力 ①面積：25.0 m² ②2441.358 m²
①保管上限：24.0 m³ ②2778 m³
①高さ 1.3m ②5m(がれき類) 2m(がれき類以外)

①

| | |
|------------------|--|
| 産業廃棄物積替・保管場所 | |
| 保管する産業 廃棄物の種類 | がれき類 <small>(非燃焼性石綿含有産業廃棄物)</small> |
| 保管高さ | H=1.3m |
| 保管量 | 24.0m ³ |
| 保管場所 | 津山市下田邑706番2 |
| 管理者 | ㈱エービー有価物回収 |



②



許可番号 岡山県 第 03360102733 号

許可の年月日 2020 年 09 月 30 日

許可の有効期限 2025 年 09 月 29 日

廃棄物の種類 廃石綿等

処理能力 ① 面積：1125.408 m²
① 保管上限：23.0 m³
① 高さ：2m

①

| | |
|------------------|----------------------------------|
| 産業廃棄物積替・保管場所 | |
| 保管する産業 廃棄物の種類 | 廃石綿等 |
| 保管高さ | H=2.0m |
| 保管量 | 23.0m ³ |
| 保管場所 | 津山市二宮 968 番地 1 |
| 管理者 | ㈱エービー有価物回収 |
| 連絡先 | 津山市二宮 968 番地 1 ☎ 0868-28-9366 |



1.9 許可内容

| 発行 | 種類 | 許可番号 | 許可 年月日 有効 年月日 | 産業廃棄物の種類 | | | | | | | | | | | 自動車 破砕物を 除く | | |
|-----|----------------|-----------------|----------------------------|----------|--------|------------------|-------------|-------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------------------|-------------|-------------------|------------------|--------|
| | | | | 燃え 殻 | 汚 泥 | 廃 プ ラ 類 | 紙 く ず | 木 く ず | 織 維 く ず | ゴ ム く ず | 金 属 く ず | ガ ラ ス | が れ き 類 | 廃 石 綿 | | 積 替 保 管 | |
| 岡山県 | 産業廃棄物 収集運搬業 | 第 03318102733 号 | 2018年01月17日 2025年01月16日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ※ 1 |
| | 産業廃棄物 中間処理業 | 第 03328102733 号 | 2017年12月8日 2024年12月7日 | | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | ※ 2 |
| | 特別管理型 収集運搬業 | 第 03360102733 号 | 2020年9月30日 2025年9月29日 | | | | | | | | | | ● | ● | | ● | ※ 3 |
| 岡山市 | 産業廃棄物 中間処理業 | 第 08320102733 号 | 2023年5月10日 2030年3月6日 | | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | ※ 4 |
| 倉敷市 | 産業廃棄物 中間処理業 | 第 10020102733 号 | 2023年5月9日 2030年3月6日 | | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | ※ 5 |
| 広島県 | 産業廃棄物 収集運搬業 | 第 03400102733 号 | 2018年5月21日 2025年5月20日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ※ 6 |
| | 特別管理型 収集運搬業 | 第 03450102733 号 | 2020年8月3日 2025年8月2日 | | | | | | | | | | | ● | | | |
| 兵庫県 | 産業廃棄物 収集運搬業 | 第 02806102733 号 | 2021年11月8日 2028年11月7日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ※ 1 |
| | 特別管理型 収集運搬業 | 第 02856102733 号 | 2020年8月5日 2025年8月4日 | | | | | | | | | | | ● | | | |
| 島根県 | 産業廃棄物 収集運搬業 | 第 03250102733 号 | 2022年1月13日 2027年1月12日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 特別管理型 収集運搬業 | 第 03250102733 号 | 2022年1月13日 2027年1月12日 | | | | | | | | | | | ● | | | ※ 1 |
| 鳥取県 | 産業廃棄物 収集運搬業 | 第 03151102733 号 | 2022年3月17日 2027年3月16日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 特別管理型 収集運搬業 | 第 03151102733 号 | 2022年3月17日 2027年3月16日 | | | | | | | | | | | ● | | | ※ 1 |

- ※ 1 石綿含有廃棄物を含む
- ※ 2 破砕(固定式・移動式)
- ※ 3 破砕・選別 ガラスは、廃石膏ボードに限る
- ※ 4 破砕(移動式)
- ※ 5 破砕(移動式)
- ※ 6 廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛製の管又は板、廃石膏ボード、廃容器包装及び石綿含有産業廃棄物を含み、鉛蓄電池の電極、自動車等破砕物、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く

2. 環境経営方針

(株)ジェイピー有価物回収



基本理念

地球温暖化対策として私たちに出来ることは、循環型社会を目指し、「誰かがしなければならぬ事は、私たちがします」という精神で産業廃棄物中間処分量を営むことです。

環境問題に真摯に向き合っている私たちの一番の取組はリサイクル事業です。ゴミをゴミとしてではなく、価値ある資源として再利用しております。今後も自主的・積極的に地域の環境保全に努め、事業活動から生まれる様々な負荷の低減を目指します。



基本方針

事業活動が環境に与える影響を認識し、基本理念に基づいた環境目的・目標を設定して環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

1. 環境関連法令及び条例を遵守します
2. 事業活動による二酸化炭素(CO2)排出量の削減に取組みます
3. 事業活動における最重要課題は、産業廃棄物を可能な限り分別する等、産業廃棄物のリサイクル率の向上です
4. 地元の環境活動に積極的に参加し、よき企業市民としての役割を果たします
5. 環境配慮に関する目標を全職員に周知徹底し、研修会において目標の達成度や取組状況を評価し、未達成項目の改善に努めます
6. 環境保護への取組の結果を環境活動レポートにより公表します
7. 全従業員に、環境方針を周知徹底させるとともに、環境意識向上のための教育と啓発に努めます

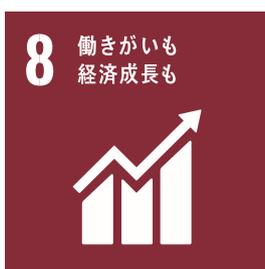
制定日：2016年5月13日

改定日：2021年10月4日

株式会社ジェイピー有価物回収

代表取締役

日笠 裕一



健康経営・働き方改革・ワークライフバランスを推進しています。

- ・社員に対しては、資格取得を奨励し、質の高いプロフェッショナル集団となるよう人材の育成に注力しています。
- ・全社員が環境に取り組むことの重要性をよく理解し、省エネや廃棄物削減目標を設定し、達成状況を毎月のミーティングで協議しています。
- ・環境経営レポートの公表による外部への情報発信に努め、社会的信頼の向上を目指しています。
- ・地元学生の社会見学として、美作高校の学生を対象とし施設見学を実施しました。



エコアクション 2 1 の取組全般が、効率的な経営や環境配慮活動に結びついており温室効果ガスなど環境負荷の削減につなげています。

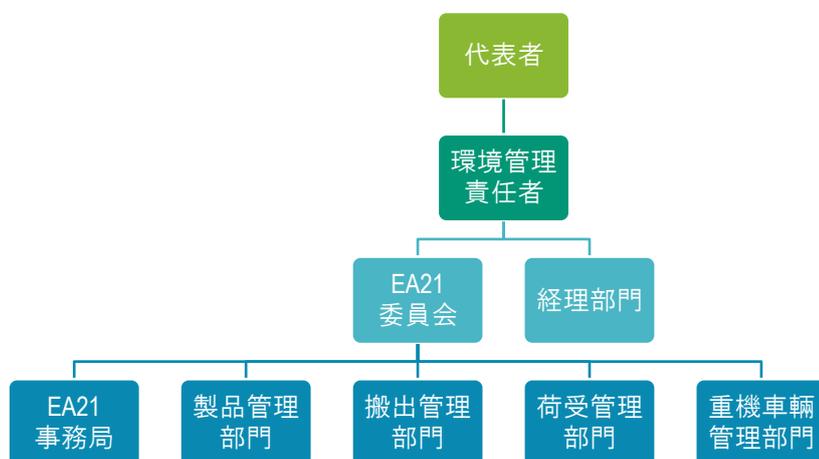
- ・温室効果ガス排出量の把握と削減に取り組んでいます。電気使用量・燃料削減の数値は、環境活動レポートとしてホームページに公開しています。
- ・太陽光発電や化石燃料から、電気を動力とした破砕機を導入しています。
- ・会社周辺の緑化、花壇の整備、農地の再生に全員で取り組みます。また、地域の草苻、お祭り等のイベント等に積極的に参加しています。住民の皆様からの要望や意見に真摯に耳を傾け、経営に反映させることにより、地域のパートナーとして住民の皆様が応援したくなるような正直な企業を目指しています。



持続可能な生産と消費のパターンの確保に向けた取り組みを行います。

- ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）の事業活動を通じて、おかやまプラスチック 3R 宣言事業所として環境改善に資する製品・サービスの開発に注力しています。
- ・環境関連法規の遵守と経営成績は、車の両輪であるとの認識を徹底しています。

3. エコアクション 21 組織図



役割分担表

| 所属 | 役割・権限 |
|----------|---|
| 代表者 | <p>全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し。</p> <p>環境管理責任者の任命、環境活動に必要な資源の準備、環境目標、環境活動計画及び環境活動レポートの承認。</p> |
| 環境管理責任者 | <p>全体の把握/環境管理責任者、環境経営システムを構築し運用する、その状況を代表者に報告する。</p> <p>環境関連法規制等遵守評価実施、緊急事態対応訓練実施、環境活動レポート確認、環境教育計画立案・実施、環境関連の外部コミュニケーションの窓口対応。</p> |
| EA21委員会 | <p>最低3カ月に1回相当開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する。問題点の把握、原因究明、改善対策立案、審議記録により審議内容を環境管理責任者に報告。</p> |
| EA21事務局 | <p>EA21文書及び記録類の作成・維持・管理。</p> <p>環境管理責任者の補佐、環境関連事項の全従業員への周知。</p> |
| 製品管理部門 | <p>エコドライブ等推進。騒音・粉塵等の環境管理。</p> |
| 搬出管理部門 | <p>産業廃棄物中間処理における適正処理、</p> <p>リサイクルの推進。</p> |
| 荷受管理部門 | <p>リサイクルの推進、環境に優しい仕分の推進。</p> |
| 重機車輛管理部門 | <p>車輛燃料(ガソリン、軽油、灯油)、灯油、重油の使用量管理。エコドライブ等の推進。</p> |
| 経理部門 | <p>電力、水力使用料の管理。事務用品等エコ製品の推進。</p> |
| 全社員 | <p>環境方針、環境目標、環境活動計画及び各自の役割の理解及び環境活動の重要性を自覚して自主的・積極的な参加。</p> |

4. 主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|--------------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 二酸化炭素 総排出量 | Kg-CO2 | 455,679 | 294,039 | 296,623 | 279,693 |
| 収集運搬量 | t | 21,638 | 2,436 | 25,600 | 19,898 |
| 中間処理量 | t | 79,558 | 41,769 | 61,553 | 44,504 |
| 再資源化量 | t | 77,283 | 39,949 | 59,608 | 42,698 |
| 再資源化率 (込鉄含) | % | 97.1 | 95.6 | 96.8 | 95.9 |
| 産業廃棄物排出量 (再生) | t | 78,943 | 40,039 | 59,608 | 42,698 |
| 産業廃棄物排出量 (最終処分) | t | 2,225 | 1,816 | 1,945 | 1,805 |
| 太陽光発電量 | kWh | 29,936 | 32,789 | 28,850 | 25,918 |

※電力の二酸化炭素排出係数 **0.537** kg-CO2/kWh (中国電力 2023年度実績)

※再資源化率 = 再資源化量/中間処理量

※化学物質の使用はありません。

5. 環境経営目標とその実績及び環境 経営計画の評価・今後の取組

| 項目 | 年度 | 基準年 | 2023年 | | 2024年 | 2025年 |
|---------------------------------------|----------------|---------|--------|--------|--------------|--------------|
| | | (2022年) | (目標) | (実績) | (目標)2022年-2% | (目標)2022年-3% |
| | | | | | | |
| 電力による 二酸化炭素削減 (中間処理含む) | kWh | 59,650 | 59,053 | 68,673 | 58,457 | 57,861 |
| | 基準年度比 | - | 99% | 115% | 98% | 97% |
| ガソリン | L | 2,983 | 2,947 | 2,909 | 2,923 | 2,894 |
| | 基準年度比 | - | 99% | 98% | 98% | 97% |
| 軽油 (収集運搬・中間 処理) | L | 99,866 | 98,861 | 90,084 | 97,869 | 96,870 |
| | 基準年度比 | - | 99% | 90% | 98% | 97% |
| 産業廃棄物削減 とリサイクル率向上 (再資源化率向 上) | % | 97 | 92 | 96 | 93 | 94 |
| | 基準年度比 | - | 95% | 99% | 96% | 97% |
| 太陽光発電量 | kWh | 28,850 | - | 25,918 | - | - |
| 水道水の削減 | m ³ | 257 | 254 | 291 | 252 | 249 |
| | 基準年度比 | - | 99% | 113% | 98% | 97% |
| 会社周辺の清掃 活動 | | 営業日毎日 | 月 15 回 | 営業日毎日 | 営業日毎日 | 営業日毎日 |

※ L P Gは少量の為、目標設定しない。

| 環境目標・環境活動計画の達成状況 | 目標計画 | 目標値 達成状況 | 活動計画 実施状況 | コメント（今後の取組） | |
|--------------------|--------------|-------------|-----------------------------------|---|---|
| | 二酸化炭素削減(まとめ) | 達成 | ○ | 今後も、Co2 排出の削減を全員で意識共有し取り組みます。 | |
| | 電力使用量の削減 | 未達成 | ○ | がれき破碎機を軽油から電力に更新したため、電力の使用量が前年度より増加しています。今後は、大型設備の空回しなど注意し、使用量の削減に取組みたいと思います。 | |
| | 数値目標 | | | | × |
| | 各部屋の不要時の消灯 | | | | ○ |
| | 空調温度の適正化 | | | | ○ |
| | 場内水銀灯の不要時の消灯 | | | | ○ |
| | 施設作業時の効率的な運転 | ○ | | | |
| | ガソリン使用量の削減 | 達成 | ○ | 引き続き無駄なアイドリングを抑えて取組みたいと思います。 | |
| | 数値目標 | | | | ○ |
| アイドリングストップ | ○ | | | | |
| 重機・車両の整備・清掃・点検 | ○ | | | | |
| 軽油使用量の削減 | 達成 | ○ | 引き続き重機、車両の無駄な運転のないよう心がけたいと思います。 | | |
| 数値目標 | | | | ○ | |
| アイドリングストップ | | | | ○ | |
| 重機の回転数制御 | | | | ○ | |
| 重機・車両の整備・清掃・点検 | ○ | | | | |
| 水使用量の削減 | 未達成 | ○ | 地下水を使用しながら、水の節水に努めます。 | | |
| 数値目標 | | | | × | |
| 地下水使用による水の節約 | ○ | | | | |
| 産業廃棄物の削減 | 達成 | ○ | リサイクル率の向上に取り組みたいと思います。 | | |
| 数値目標 | | | | ○ | |
| リサイクル率の向上 | ○ | | | | |
| 収集・運搬、中間処理における環境配慮 | 達成 | ○ | 引き続き日常点検・整備を徹底して取組みたいと思います。 | | |
| 数値目標 | | | | － | |
| 日常点検・整備の徹底 | ○ | | | | |
| 会社周辺の清掃活動 | 達成 | ○ | 毎営業日、朝から道路清掃をしています。引き続き環境整備を行います。 | | |
| 数値目標 | | | | － | |
| 花壇作成・道路掃除 | ○ | | | | |

6. 環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

| 法規制等の名称 | 該当する要求事項 | 遵守状況 |
|-----------------|---|------|
| 廃棄物処理及び清掃に関する法律 | 収集運搬業及び中間処理業の許可 産業廃棄物処理施設の許可 産業廃棄物の保管基準遵守 | 遵守 |
| 騒音規制法 | 地域別騒音基準の遵守 | 遵守 |
| 振動規制法 | 地域別振動基準の遵守 | 遵守 |
| 消防法 | 危険物製造・貯蔵・取扱の指定数量以上の許可申請 製造所等の危険物保安監督者の届出 | 遵守 |

※環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されてきました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

7. その他活動状況(CSR 活動等)

地域融和・社会貢献活動

① クリーン活動・CSR・SDGs 活動

事務所周辺の清掃活動、花壇(フラワーロード)、年2回の町内クリーン作戦の参加、太陽光パネルなど様々な活動に挑戦しています。



※太陽光パネル発電量 25,918kWh



消火訓練 (緊急事態試行・訓練記録)

場内や施設での火災に備え、消火訓練を実施しています。



環境保全活動

社内情操教育の一環として畑作り等農園をしています。今年も、サツマイモ、白菜、水菜、キュウリ、ナス等いろいろな野菜の収穫もできました。

会社周辺の緑化活動、地域の方々への挨拶運動も続けています。



8. 代表者による全体評価と見直しの結果

当社では、エコアクション 21 を取り込みはじめて使用燃料を軽油から電氣化、重機や車輛を排ガス規制に優れている設備、機械へと積極的に投資しました。従業員にも軽油・水道の節約は徹底しています。しかし、どうしても仕事量に左右されるため、なかなか目標達成できないことがあります。そうした時にもなぜこのような結果になったかを分析して次の目標に向かって取り組んでいきます。

株式会社ジェイピー有価物回収は地域に求められる企業を目指し社会に貢献するために存在することを認識し、環境に対し色々な角度で進歩していきたいと思えます。

代表取締役 日笠裕一